

PLAN	No.	40	—	1	基本事務事業名	吉野中央公民館企画運営事業	事務事業名	子ども教室事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		吉野地区内の小学校児童、保護者他											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	いろいろなことを体験し、教育文化、生活文化の振興、及び仲間づくりとしての連帯感の意識高揚を図ります。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 本・紙芝居の読み聞かせは、吉野地区内の保育所・幼稚園・小学校で行い、興味や関心、言葉の持つ意味、あるいは内容などを通して仲間づくりなど教育文化の振興を図ります。														
	② お菓子の家づくりは、児童・保護者を対象に行い、作ることへの楽しさや喜び、創作意欲などを通して、仲間づくりなどの教育文化の振興を図ります。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	読み聞かせ参加者数	225人×12月=2,700		人	目標		2,500	2,700	2700						
		実績			2,700	2700									
	お菓子の家作り参加者数	年2回		人	目標		70	70	70						
		実績			60										
					目標										
				実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	50 千円		60 千円		70 千円								
		計(A)	50 千円		60 千円		70 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円		0.020 人	119 千円		0.020 人	118 千円					
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.100 人	180 千円		0.100 人	180 千円					
	全体事業費(A+B)		654 千円		359 千円		368 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	自己の教養を高めたり、お互いに切磋琢磨したりして、教育文化の振興を図る面から見れば、十分必要性があります。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	幅広い年齢層が集い、交流を深め、憩いの場になっているなど、成果はあります。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	積極的に研修を重ね参加率も高いので活動も目標は、達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	少ない予算内での活動、また費用の一部は個人負担であることなど、効率的は良いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	子ども教室事業を推進するため、今後とも活動範囲を広めさらに参加者を増やしていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	限られた予算で活動しているため、効率よく計画して進めます。					現状での継続をしてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	2	基本事務事業名	吉野中央公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市民、各クラブ団体他											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	阿波市民、各団体等の活動を通して親睦・交流を深め、生活文化の向上を図ります。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 茶道教室は、毎月3回開催し、市民に方々の作法・教育等の向上を図ります。														
	② 囲碁の集いは、毎週火曜日に開催し、囲碁を通じて親睦・交流を深めます。														
	③ トールペイントは、月1回の開催ですが、作品を通して親睦・交流を深めます。														
	④ パッチワーク教室は、毎月2回開催し、作品を通じて親睦・交流を深めます。														
	⑤ 阿波市婦人団体連合会・吉野消費者協会等は、ボランティア活動等を通して親睦・交流を深め、生活文化の振興を図ります。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	茶道教室	毎月3回×12月＝183人		人	目標	150	150	150							
					実績	164	155								
	囲碁の集い	毎月4回×12月＝677人		人	目標	640	640	640							
					実績	663	630								
	トールペイント	毎月1回×12月＝97人		人	目標	100	100	100							
					実績	38									
	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
DO			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	98 千円		80 千円		150 千円								
		計(A)	98 千円		80 千円		150 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,231 千円	0.020 人	119 千円	0.020 人	118 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.500 人	900 千円	0.500 人	900 千円							
全体事業費(A+B)		4,329 千円		1,099 千円		1,168 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	市民の方々の作法・教養等を高めたり、親睦や交流を深めたりする場であることから、必要性があります。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	趣味の活動、各種会合や研修等に利用され、市民が積極的に参加しているので、有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	クラブ数は多くありませんが、それぞれにおいて意欲的・積極的に参加していることから、達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	少ない予算内での活動ではありますが、一部個人負担していることすし、効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	クラブ数が少ないこと、新規のクラブ数の開拓を図ることも兼ねて、利用者数を増やしていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	幅広い年齢層の方々の親睦・交流を深める場の提供に努めます・					継続して実施し、市民への周知をしてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	3	基本事務事業名	吉野中央公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	地区市民の方々の教養の向上、資質等の向上、生活文化や教育文化の振興を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 消防設備の点検														
	② 電気の保安業務														
	③ 保安警備の業務														
	④ 夜間・休日等の施設維持管理														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	年間日数359日		日	目標		359	359	359						
		実績			360	365									
	利用者団体数	茶道教室他18		クラブ数	目標		18	18	18						
		実績			18										
					目標										
					実績										
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	0 千円		10 千円		10 千円								
		一般財源	3,247 千円		2,062 千円		2,380 千円								
		計(A)	3,247 千円		2,072 千円		2,390 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円							
全体事業費(A+B)		4,456 千円		3,028 千円		3,338 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	地域の方が、積極的に利用しているため、必要性は十分にあります。	☐ 少ない	☒ 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	各種団体が有効に利用しています。	☐ いえない	☒ いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	クラブ数が少ないので、新規のクラブが結成されるよう、呼びかけていきます。	☐ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	利用しやすい公民館となるよう、施設の設備の見直し、維持管理、効率性を高めていきたいです。	☐ 高い	☒ 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない		
	ACTION	一次評価					二次評価					
		評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
			4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
当面の課題		施設の老朽化が進んでいるため、整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	地域住民の方が今以上に利用しやすい公民館として、少ない予算内で維持管理を図ります。					利用しやすい環境に努めてください。						
委員会指摘事項												

PLAN	No.	40	—	4	基本事務事業名	吉野柿原公民館施設管理業務	事務事業名	公民館施設管理業務	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市民(吉野町柿原地区)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	市民の方々の教養の向上、資質等の向上、生活文化や教養文化振興を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 公民館施設使用の許可														
	② 公民館での社会教育・生涯学習関連情報の提供														
	③ 施設の維持管理														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	利用人数	公民館の使用頻度の指標として		人	目標	800	600	800							
		実績	447		520										
		目標													
		実績													
		目標													
		実績													
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	21 千円		128 千円		130 千円								
		一般財源	583 千円		583 千円		647 千円								
		計(A)	604 千円		711 千円		777 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		1,208 千円		1,667 千円		1,725 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	社会教育法に基づく公民館として、地域住民の方々が集う場所、また生涯学習活動の拠点として必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	利用者があまり多くなく、固定化しつつあるため、地域住民の方々が気軽に利用できる施設として、周知等行う必要があります。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	上記と同様、利用率を向上させるか、考慮する必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	効率性が良いとは言えませんが、現在の運営方法でのコストとしては維持管理のみであるため、削減は困難です。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	地域住民の方々が気軽に集える施設として、利用の推進が必要です。老朽化も進んでおり整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	施設の利用率向上を図ります。また市全体の公民館として、運営方法の見直しも行う必要があります。					利用しやすい環境に努めてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	5	基本事務事業名	八幡公民館企画運営事業	事務事業名	三世代ふれあい事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		八幡老人クラブ・八幡婦人会ヘルスメイト・八幡小学校6年生児童											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	三世代が一緒にひな祭り料理を作り、健康講座や演劇を開催し、お節句と卒業を祝い、人との出会い体験学習を実施しています。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 栄養士による栄養指導														
	② 三世代間ふれあい調理実習														
	③ 健康講座														
	④ 小学校6年生児童による芸能発表会														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	三世代ふれあい料理教室参加者数		1回		人	目標	60	60	60						
						実績	56	58							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度教育費		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	76 千円		70 千円		70 千円								
		計(A)	76 千円		70 千円		70 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円							
	全体事業費(A+B)		680 千円		1,026 千円		1,018 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	少子高齢化・核家族化している現在、高齢者・婦人会・児童が一同に集い料理作りをとおして世代間の違う人達とふれあいを深める事業として必要性は高いです。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	お節句と児童の卒業を祝う行事として地域の人達にも事業が定着しており、三世代間の学習の一環として有効性高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者には大変好評を得ています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	経費面から見ても活動内容も充実し効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	事業がマンネリ化しないように、充実したプログラムの企画に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	三世代ふれあい事業として、地域に根づいており、時代にマッチした企画運営をしていきます。					内容を充実し市民に対し定着させてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	6	基本事務事業名	八幡公民館企画運営事業		事務事業名	地域ふれあい事業		公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日		
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	大塚正己		シート作成者名	桜川治子				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		八幡老人クラブ会員・八幡第一保育所児童・八幡幼稚園児												
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	少子高齢化の中で幅広い年齢層に、体験学習や発表会の機会を提供してふれあいを深めていきます。											
				今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 八幡第一保育所児童と高齢者とのふれあい交流会															
	② 八幡第一保育所児童と高齢者とのふれあい体験事業(ミニ運動会・クリスマス会・もちつき大会)															
	③ 八幡幼稚園児と高齢者との交通安全教室															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標						
	ふれあい交流会	1回 80人	人	目標		70	70	70								
				実績		62	65									
	ふれあい体験事業	4回 75人	人	目標		300	300	300								
				実績		291	295									
	交通安全キャンペーン	1回 50人	人	目標		50	50	50								
				実績		46										
予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費			
DO			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円									
		県支出金	千円		千円		千円									
		地方債	千円		千円		千円									
		その他特定財源	千円		千円		千円									
		一般財源	2 千円		10 千円		10 千円									
		計(A)	2 千円		10 千円		10 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.060 人	358 千円	0.060 人	353 千円								
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員									
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		1,211 千円		728 千円		723 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	少子高齢化している中、異世代間との交流は、ふれあいを深める事業として必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	事業内容も豊富であり、児童と地域の人達との和を広げる事業として有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者には大変好評を得ています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	経費面から見ても活動内容も充実し効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	事業がマンネリ化しないように、事業内容を工夫し地域に密着した事業の展開となるよに企画に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	地域住民の学習課題や学習ニーズも益々多様化し高度化していることから、これらに対応する新しい時代にマッチした内容に努めていきます。					積極的な実施をしてください。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	40	—	7	基本事務事業名	八幡公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市内住民(一定区域内)												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	老人クラブ・婦人会・各種講座等に積極的に参加し、教養の増進、生活文化の振興、社会福祉の向上のために自主的活動ができる補助をします。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 成人講座(歴史に関する研究会)														
	② 八幡老人クラブ育成事業(高齢者講座、スポーツ活動、交通安全事業、地域こども見守り隊事業、奉仕作業等)														
	③ 八幡婦人会育成事業(健康講座・料理教室・ボランティア活動・日赤奉仕団体活動等)														
	④ 各種趣味クラブの連絡、調整(詩吟・カラオケ・生け花・パッチワーク・ちぎり絵・阿波踊り体操等)														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	成人講座参加者数	4回 50人	人	目標		200	200	200							
				実績		193	195								
	老人クラブ事業参加者数	34回 20人	人	目標		680	680	680							
				実績		680	678								
	各種趣味クラブ参加者数	13団体 50人	人	目標		600	600	600							
実績					596										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	108 千円		178 千円		160 千円								
		計(A)	108 千円		178 千円		160 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,418 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.400 人	720 千円	0.400 人	720 千円								
全体事業費(A+B)		2,526 千円		1,494 千円		1,468 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	地域づくり、仲間づくり、生活文化づくりの拠点として、主体的、自主的に参加、活動できる事業として必要性は高まっています。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	各種団体が自主的に各種事業を企画し、活動内容も豊富であり、活潑に活動しており有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	地域の人達の輪が広がっており利用者も多く、十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	利用者数、団体数も多く、効率よく活動されています。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	年々経費も削減される中、活動は活潑であり利用者のニーズ、また新しいクラブにも対応する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	限られた経費内で、現在の活動が維持できるように対応する必要があります。					活動の支援と自主運営指導をしてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	8	基本事務事業名	八幡公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内住民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、生活文化の振興、社会振興の増進の寄与することを目的に設け置き、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 公民館貸出の連絡調整事務														
	② 電気保安業務														
	③ 消防設備の点検業務														
	④ 浄化槽の清掃点検業務														
	⑤ 公民館の全館清掃業務														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	年間359日		日	目標		359	359	359						
					実績		360	360							
	利用団体数	阿波踊り体操 他17		クラブ数	目標		16	16	16						
					実績		16								
					目標										
					実績										
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		7 千円		1 千円								
		一般財源	1,389 千円		1,550 千円		1,622 千円								
		計(A)	1,389 千円		1,557 千円		1,623 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		2,598 千円		2,513 千円		2,571 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	地域に密着した施設であり、地域住民にとってはなくてはならない存在です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	各種団体、クラブの自主事業等活動は活潑であり有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	年間を通じ使用があるので目標達成は高いです。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	市内の同じ地域をまとめて、委託契約や公民館総合補償契約をし、経費の節約に努め維持管理をしており有効性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	利用者が快適に利用できるように維持管理していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	地域に密着した施設であるため統合・縮小しない限り、現状維持が好ましいです。					今後も利用しやすい環境に努めてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	9	基本事務事業名	市場公民館企画運営事業	事務事業名	ガーデニング教室	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内住民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	ガーデニングを通して花いっぱい運動を広げて、住民の交流と心豊かな人づくりの機会を提供し、ふれあいを深めていきます。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 講師を招いて実技・講習会の開催(年3回)														
	② 受講生募集方法は、広報阿波やACN等を利用														
	③ 材料費は、受講生が全額負担														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	参加者数		3回×20人	人	目標		70	70	70						
					実績		67	68							
					目標										
					実績										
					目標										
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	43 千円		43 千円		43 千円								
		計(A)	43 千円		43 千円		43 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円		0.100 人	596 千円		0.100 人	588 千円					
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.400 人	720 千円		0.400 人	720 千円						
全体事業費(A+B)		1,252 千円		1,359 千円		1,351 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	環境美化や地域づくり、仲間づくりの交流の場の確保を図る面から必要性は高まっています。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	地域の人達にこの事業が定着しており、実技講習会の内容も豊富であり有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☒ する	☐ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者の人達の輪が広がっており参加希望も多く、十分達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	経費面から見ても参加率も高く、材料費は参加者負担であり効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	事業がマンネリ化しないように事業内容を工夫し地域に密着した事業の展開となるような企画に努めていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	新しい時代にマッチした事業内容の充実に努めていきます。					積極的に広げてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	10	基本事務事業名	市場公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川 治子					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市内住民(一定区域内)												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	市民の教養の向上、生活文化の振興、健康増進、社会福祉の向上のための自主活動ができる補助をします。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 老人クラブ育成事業														
	② 各種講座														
	③ スポーツ活動事業(ゲートボール・グラウンドゴルフ・デイスコン)														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	老人クラブ参加者数	16回×20人		人	目標		320	320	320						
					実績		282	290							
	婦人会参加者数	16回×20人		人	目標		0	0	0						
					実績		0								
	各種講座参加者数	9団体×30人		人	目標		270	270	270						
		実績			220										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	172 千円		276 千円		275 千円								
		計(A)	172 千円		276 千円		275 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円		0.050 人	298 千円		0.050 人	294 千円					
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.400 人	720 千円		0.400 人	720 千円					
	全体事業費(A+B)		1,381 千円		1,294 千円		1,289 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	仲間づくり、生活文化づくりの拠点として、主体的・自習的に参加し活動できる事業であり公民館に対するニーズは高く必要性は高いです。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	各種団体がマンネリ化しないように事業の企画を補助し貢献度は高いです。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	地域住民の輪が広がりつつあり参加者も増えており十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	活動内容も活潑であり利用者数も多く効率よく活動しています。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	活動は活潑であり利用者のニーズも高まっている中、充実度を高めつつ各種団体が自立した活動ができるように向けていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	限られた経費内で、他の公民館との調整を図りながら現在の活動が維持できるように対応していく必要があります。					活動の支援と自主運営指導をしてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	11	基本事務事業名	市場公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法 阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内住民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習活動の拠点として、生活文化の振興・社会振興の増進に寄与することを目的とし、利用者が安全で快適に活用できるよう維持管理を図ります。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 公民館貸出の連絡調整事務														
	② 電気の業務														
	③ 消防施設の点検業務														
	④ 浄化槽の清掃点検業務														
	⑤ 館内外清掃業務														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	年間359日		日	目標		359	359	359						
		実績			360	358									
	利用者団体数	生花クラブ他6		クラブ数	目標		12	12	12						
		実績			7										
					目標										
					実績										
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	1 千円		10 千円		5 千円								
		一般財源	689 千円		913 千円		633 千円								
		計(A)	690 千円		923 千円		638 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.500 人	3,022 千円	0.500 人	2,981 千円	0.500 人	2,941 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		3,712 千円		3,904 千円		3,579 千円									

チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	研修会・学習会・発表会等公共的利用の施設として提供しており利用者も多く必要性は高いです。	☐ 少ない	☒ 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	趣味クラブ等の利用が自主的に運営されているため有効性は高いです、	☐ いえない	☒ いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒ する	☐ しない		☐ する	☒ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	地域の各団体の会議等の利用や市趣味クラブの活動に利用され十分達成されています。	☐ 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	公民館総合補償契約を市内の他公民館と一括契約することで割安に加入したり、経費の削減に努めることにより効率的に管理されています。	☐ 高い	☒ 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	利用者が安全・快適に活用できるように、備品等が古くなっているので整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	管理運営上、施設内外の改善の必要があります。					利用しやすい環境に努めてください。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	40	—	12	基本事務事業名	大俣公民館企画運営事業		事務事業名	自然観察会		公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	大塚 正己		シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成		年	～	平成		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		阿波市公民館条例、社会教育法					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内小学生・保護者													
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	親子で自然にふれあい、自然の中で発見や感動をかんじてもらい、観察会を通じ自然を大切にする心を養うことで自然環境の保全を図ります。													
			今年度	事業内容の充実を図ります。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 4月に各小学校に会員募集の用紙を配布し募集を行います。																
	② 親子で参加する事業です。(休日に開催)																
	③ ホタル・クモ・水生昆虫等の観察をしています。」																
	④ その内1回は、バスを借り上げて(剣山の動植物・海辺の植物、生き物)観察会も実施しています。																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標							
	自然観察会参加数		40人×6回		人	目標	200	200	240								
						実績	240	293									
						目標											
						実績											
						目標											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費		
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用								
		県支出金	千円		千円		千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		5 千円		45 千円										
		一般財源	183 千円		78 千円		60 千円										
		計(A)	183 千円		83 千円		105 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,813 千円		0.050 人	298 千円		0.050 人	294 千円							
		臨時・嘱託職種					社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.300 人	540 千円		0.300 人	540 千円							
	全体事業費(A+B)		1,996 千円		921 千円		939 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	子供のころから自然や生き物を大切にする心を養うことで情操教育に役立っています。また、自然あふれる阿波市の再発見ができています。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	参加者においては、自然の大切さが認識されて、意識改革ができています	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☒ いえない	☐ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	参加者も多く、親子で自然環境を保全して自然との共生を図るため活動目的は、達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☒ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☐ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	体験活動を通じ自然保護の自覚を各自がもつことで、効率性を計りしれないものがあります。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価										
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	予算削減のなかでどのように効率よく計画を立て活動していくか考える必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	参加者に人気があるものを計画しています。					現状での維持継続に努めてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	13	基本事務事業名	大俣公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☒ 2 非該当		根拠法令等		阿波市公民館条例、社会教育法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市内(大俣区域内住民)												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	各種の学習を通じ、文化向上を目指し生活向上ができるよう取り組みを図ります。											
			今年度	各種の学習を通じ、文化向上を目指し生活向上ができるよう取り組みを図ります。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 老人クラブ(奉仕活動・スポーツ活動)														
	② 婦人会(婦人講座・ボランティア活動・料理教室・日石奉仕団への参加)														
	③ 各種講座(舞踊・詩吟・生花・カラオケ・大正琴・読書会)														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	老人クラブ参加者数	20人×25回		人	目標		540	540	500						
		実績			320	293									
	婦人会参加者数	25人×15回		人	目標		380	380	375						
		実績			470	456									
	各種講座参加者数	8団体×12人×12回		人	目標		1344	1200	1152						
実績			2400		1864										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円	平成24年度より、嘱託職員を採用			
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	19 千円		51 千円		78 千円								
		計(A)	19 千円		51 千円		78 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,813 千円		0.300 人	1,788 千円		0.000 人	0 千円					
		臨時・嘱託職種					社会教育指導員		社会教育指導員						
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.300 人	540 千円		0.300 人	540 千円					
	全体事業費(A+B)				1,832 千円		2,379 千円		618 千円						

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	地域づくりに欠かせない団体です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☒ いる	☐ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	住民が参加できる場所の提供をし学習の機会を与えています。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者には、毎回好評ですので十分達成されています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	予算的には、低いが各事業効率よく回転しています。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	老人クラブは、高齢化が進む中65歳から70歳までの新規会員を獲得し若返りを図る必要があります。婦人会活動では、活動しやすい場の提供をしていきます。また、各種講座は利用者の固定化がみられるので幅を広げていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	生涯学習の観点から、地域に根ざした活動が展開され、誰でも気軽に利用できる場所づくりを目指します。					今後も活動の援助と自主運営の指導が必要です。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	14	基本事務事業名	大俣公民館施設管理事業		事務事業名	公民館施設管理事業		公的関与	6	シート作成日	平成25年6月25日		
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	大塚 正己		シート作成者名	長瀬 和文				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		☒ 期間設定なし				
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☒ 2 非該当		根拠法令等		阿波市公民館条例、社会教育法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内(大俣区域内住民)												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	施設の維持管理に努め、利用者が快適に利用できました生涯学習の場として提供を図ります。											
				今年度	施設の維持管理に努め、利用者が快適に利用できました生涯学習の場として提供を図ります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 施設維持管理(電気設備・消防設備・浄化槽の保守点検及び清掃)															
	② 施設運営(日常の公民館の貸し出し業務)															
	③															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標						
	開館日数		年間日数(年末年始を除く)		日	目標	359	359	359							
						実績	359	359								
	利用団体(定期利用)		クラブ数 (7)		数	目標	10	10	375							
						実績	7	8								
						目標			1152							
						実績										
	予算費目 会 計 一般会計 款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 3 公民館費															
DO			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用							
		県支出金	千円		千円		千円									
		地方債	千円		千円		千円									
		その他特定財源	4 千円		4 千円		5 千円									
		一般財源	2,287 千円		2,179 千円		2,590 千円									
		計(A)	2,291 千円		2,183 千円		2,595 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.100 人	596 千円	0.200 人	1,176 千円								
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員									
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		3,500 千円		3,139 千円		4,131 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	地域住民の活動拠点としてなくてはならない存在です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	各々のクラブ等がニーズに合わせて利用しているので有効性はあります。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☒ いえない	☐ いえる		☒ いえない	☐ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	年間を通じ利用されています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	ほぼ毎日施設が利用されて効率性は大であります。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	館も老朽化しており、設備等を充実していきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	老朽化に伴い修繕等を計画的に行うようにしていきます。					地区住民が利用しやすい良好な環境に努めてください。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	40	—	15	基本事務事業名	大俣公民館企画運営事業		事務事業名	大俣高齢者教室		公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日				
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	大塚 正己		シート作成者名	長瀬 和文						
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託							
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等							
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了								
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成		年	～	平成		年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		阿波市公民館条例、社会教育法						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内(大俣区域内高齢者)														
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	高齢者が生きがいを持ちながら元気で生き生きと過ごせるための学習の場の提供を図ります。													
				今年度	高齢者が生きがいを持ちながら元気で生き生きと過ごせるための学習の場の提供を図ります。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																	
	① 幼稚園・保育所園児とのふれあい事業																	
	② 小学校児童との交流事業																	
	③ 健康推進事業																	
	④ 交通安全教室																	
	⑤																	
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標								
	高齢者教室参加数		25人×7回		人	目標	210	210	180									
						実績	179	184										
						目標												
						実績												
						目標												
実績																		
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費			
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円	平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金			千円			千円			千円							
		地方債			千円			千円			千円							
		その他特定財源			千円			千円			千円							
		一般財源	20 千円		12 千円		50 千円											
		計(A)	20 千円		12 千円		50 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円		0.070 人	417 千円		0.000 人	0 千円								
		臨時・嘱託職種					社会教育指導員		社会教育指導員									
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.200 人	360 千円		0.200 人	360 千円									
全体事業費(A+B)				1,229 千円		789 千円		410 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	高齢化が進む中、高齢者にとって生きがいづくりの一つとして、学習の場を提供することは、重要であります。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	長寿社会を迎えている今日、元気で活動できることが大切なので、有効性は高いものがあります。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☒ する	☐ しない		☒ する	☐ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者も多く、学習内容も好評ですので概ね達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☐ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	高齢者が学習を通じ得た知識は、計り知れないものがあります。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	3	3	A	4	3	3	3	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	高齢化が進む中で、元気に活動できるようにサポートしていける教室を考えていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	高齢者にとって学習機会を持つことは、大切であるので要望があるものを計画し実行していきます。					今後も参加しやすい内容にして、現状維持をしてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	16	基本事務事業名	久勝公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい体験事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民・久勝地区内の市民											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	体験や発表の機会を提供して、人間性豊かに過ごせるように、異年齢の人達とふれあいを深めます。										
				今年度	体験や発表の機会を提供して、人間性豊かに過ごせるように、異年齢の人達とふれあいを深めます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 久勝幼稚園児親子ふれあい田植え体験事業														
	② 久勝幼稚園児親子ふれあい稲刈り体験事業														
	③ 久勝幼稚園児と高齢者との世代間ふれあい交流会														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	幼稚園児親子ふれあい 田植え体験参加者数		1回 80人		人	目標	85	80	80						
						実績	80	76							
	幼稚園児親子ふれあい 稲刈り体験参加者数		1回 80人		人	目標	85	80	80						
						実績	80	76							
	幼稚園児と高齢者との世代 間ふれあい交流会参加者数		1回 100人		人	目標	120	100	100						
					実績	100	90								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	79 千円		93 千円		90 千円								
		計(A)	79 千円		93 千円		90 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.250 人	450 千円	0.300 人	540 千円							
	全体事業費(A+B)		1,288 千円		543 千円		630 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	少子・高齢化・核家族化している現在、農業体験・世代間ふれあい交流会等、多数の異ねんれいの人達とふれあうことは、人間形成に不可欠です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	保護者の参加者も多く田植え等体験を通してふれあい、自然を知り食の安全・安心の為、日々頑張っている人達を見ることは、幼児教育に有効です。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者も多く家庭では体験できない田植え・稲刈り等親子で楽しんでおり事業目的は達成していると思います。	☐ 目標に比べて劣っている		
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない	☐ あまり上がっていない					
3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している	☐ 概ね達成している					
4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している	☒ 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	事業費に対し、参加者も多く効果は十分出ていると思います。	☐ 高い	☒ 適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	ふれあい交流の際、高齢者に対して幼稚園児が年々少なくなっているのが気にかかります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	効率よく運営していくための企画立案を行います。					現状での継続に努めてください。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	17	基本事務事業名	久勝公民館企画運営事業	事務事業名	久勝高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		久勝地区高齢者・市民											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	いきいきと、又健やかに暮らせるように、教養・親睦・趣味等生涯学習の場の提供に努めます。										
				今年度	学習を通じて、生活文化の向上ができるよう取り組みを図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 久勝高齢者教室・お誕生会														
	② 久勝高齢者教室・幼稚園児との世代間ふれあい交流会														
	③ 久勝高齢者教室手芸教室														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	高齢者教室 お誕生会参加者数		1回 80人		人	目標	80	80	80						
						実績	76	76							
	高齢者教室 世代間交流会参加者 数		1回 80人		人	目標	120	80	80						
						実績	100	76							
	高齢者教室 手芸講座参加者数		10人×12回		人	目標	120	120	120						
					実績	96	102								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	66 千円		81 千円		88 千円								
		計(A)	66 千円		81 千円		88 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.300 人	540 千円							
	全体事業費(A+B)		1,275 千円		441 千円		628 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	高齢者が毎日元気に過ごせるように参加者のニーズ把握と身近な学習の場として必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	高齢者の身近な所での活動なので参加者も多く、健康等の講演会は非常に関心が高いです。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	お誕生会・研修会・手芸・園児とのふれあい交流会等参加率も良く十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	事業費からも見ても参加者数から比較しても効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近な場で学習する場の提供は、高齢者のいきがい、健康増進の面からも現状維持が好ましいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	高齢者の生活に張りと潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必要があります。					参加しやすい内容で、現状維持を続けてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	18	基本事務事業名	久勝公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市の行事に積極的に参加する等、元気に生活に張りりと潤いをもたせ健康で明るい生活を送り、自主的活動ができる補助をします。											
			今年度	自主的活動ができるように援助を行います。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 久勝老人クラブ														
	② 久勝運転者会														
	③ 久勝婦人会														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	老人クラブ参加者	総会30人・体育大会35人	人	目標	320	65	60								
				実績	76	60									
	サークル活動	240人×48回	人	目標	18000	18000	18000								
				実績	17500	17200									
				目標											
				実績											
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.300 人	1,813 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.150 人	270 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		1,813 千円		270 千円		360 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	高齢者が毎日元気に過ごせるように参加者のニーズ把握と身近な学習の場として必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	高齢者の身近な所での活動なので、参加者も多く健康の講演会等は非常に関心が高いです。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	お誕生会・研修会・手芸・園児とのふれあい交流会は参加率もよく十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	事業費から見ても参加者数から比較しても効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近な場で学習する場の提供は、高齢者の生きがい、健康増進の面からも現状維持が好ましいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	高齢者の生活に張り潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必要があります。					活動の支援と自主運営の指導を行ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	19	基本事務事業名	久勝公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	生活文化の振興、地域づくりの拠点として市民が自主的に活動できるよう維持管理に努めます。											
			今年度	生活文化の振興、地域づくりの拠点として市民が自主的に活動できるよう維持管理に努めます。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 日常の公民館貸出の連絡調整														
	② 夜間・休日・祭日の貸出の連絡調整														
	③ 電気の保安業務・消防設備の点検業務														
	④ 浄化槽の清掃点検業務														
	⑤ 公民館の全館清掃業務														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	359日	日	目標		359	359	359							
				実績		359	359								
	各講座・クラブ活動団 体数	コーラス外18クラブ	クラブ数	目標		24	19	19							
				実績		18	18								
				目標											
				実績											
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	94 千円		103 千円		80 千円								
		一般財源	2,420 千円		2,735 千円		2,942 千円								
		計(A)	2,514 千円		2,838 千円		3,022 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.100 人	596 千円	0.250 人	1,470 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		3,723 千円		3,794 千円		4,852 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	各種団体、クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	利用者も多く十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	現状維持に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	現状維持を保つための予算確保と共に、各団体が効率よく利用するよう努めます。					市民に対し利用しやすい館を目指してください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	20	基本事務事業名	伊沢公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい体験事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		伊沢小学校児童・伊沢幼稚園児・伊沢高齢者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	わら細工・竹細工などを体験し、豊かな心を養います。										
				今年度	伝承文化を引き継いでいきます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 伊沢小学校児童と高齢者との昔の遊び伝承教室 わら細工・竹細工														
	② 伊沢幼稚園児と高齢者とのふれあいクリスマス会														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	わら細工・竹細工参加人数		伊沢小学校児童30人×2回		人	目標	60	60	60						
						実績	60	60							
	クリスマス会参加人数		伊沢幼稚園児・高齢者60人×1回		人	目標	100	100	60						
						実績	80	0							
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	65 千円		36 千円		44 千円								
		計(A)	65 千円		36 千円		44 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.000 人	0 千円	0.050 人	294 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.250 人	450 千円	0.300 人	540 千円							
	全体事業費(A+B)		1,274 千円		486 千円		878 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	少子高齢化が進んでいる現在、小学生・幼稚園児と高齢者のふれあいは、人間形成に不可欠です。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	高齢者の人達にわら細工・竹細工等を教えてもらうことは異年齢のふれあい又、昔の遊びを体験できるので大変有効です。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	家庭ではもう体験できないであろう、わら・竹細工ができた時の達成度は十二分にあると感じています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	事業効果の高さには、効率性があると思います。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	予算が少ないので、活動が制限されます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	もう少し予算があれば、より活動が充実できると思います。					現状で継続をしていきます。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	21	基本事務事業名	伊沢公民館企画運営事業	事務事業名	伊沢高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		伊沢地区の高齢者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	高齢者が楽しめることを第一とし、次に教養・親睦・世代間交流を図ります。										
				今年度	学習を通じて、生活文化の向上ができるよう取り組みを図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 伊沢幼稚園児とのふれあいクリスマス会														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	ふれあいクリスマス会		1回 40人		人	目標	100	100	40						
						実績	60	0							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	10 千円		0 千円		47 千円								
		計(A)	10 千円		0 千円		47 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	180 千円	0.100 人	180 千円							
	全体事業費(A+B)		614 千円		180 千円		227 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	高齢者の方が加入している、老人クラブが減少し、現在残っているのは、1クラブのみとなり、会員数が半分になった。それでも高齢者の生きがいづくりとして、学習の場を提供することは重要であります。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	幼稚園児とのふれあいは可愛さもあり、大変心を和ませるので有効性はあります。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	参加者は大変好評で元気を貰ったといい、概ね達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	予算面から見ても、事業効果は高いと思います。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	工夫を凝らして事業を推進します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	工夫を凝らして事業を推進します。					参加しやすい内容にし、現状維持に努めてください。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	40	—	22	基本事務事業名	伊沢公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市民が楽しめることを第一とし、教養・健康を高め生活文化の振興を図ります。											
			今年度	自主的活動ができるように援助を行います。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 阿波市グラウンド・ゴルフ協会による事業の参加														
	② 伊沢公民館の趣味・サークル団体														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	市グラウンドゴルフ大会 参加者数	20人×2回		人	目標		40	40	40						
					実績		36	34							
	サークル活動参加者数	24団体(600人×12回)		人	目標		8000	8000	7200						
					実績		7440	7440							
					目標										
					実績										
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.100 人	604 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.200 人	360 千円		0.100 人	180 千円						
	全体事業費(A+B)	604 千円		360 千円		180 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	趣味クラブは熱心に活動している。又、多様化しているのが育成していくことが必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	すべて自主運営のクラブは、熱心なので有効性があります。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	趣味クラブが効率よく館を利用し、活動も活発なので十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	趣味クラブは、熱心に取り組んで活動しているので、効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	当面は現在の活動ができるよう努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	館の利用を効率よくし、更に新しいクラブも受け入れるようにします。					活動の支援と自主運営の指導を行ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	23	基本事務事業名	伊沢公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	生活文化の振興、地域づくりの拠点として市民が自主的に活動できるよう維持管理に努めます。											
			今年度	生活文化の振興、地域づくりの拠点として市民が自主的に活動できるよう維持管理に努めます。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 日常の公民館貸出の連絡調整														
	② 夜間・休日・祭日の貸出の連絡調整														
	③ 電気の保安業務・消防設備の点検業務														
	④ 浄化槽の清掃点検業務														
	⑤ 公民館の全館清掃業務														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	359日	日	目標		359	359	359							
				実績		359	359								
	利用団体数	24団体	クラブ数	目標		25	24	24							
				実績		22	23								
				目標											
				実績											
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	13 千円		34 千円		10 千円								
		一般財源	3,059 千円		3,319 千円		4,051 千円								
		計(A)	3,072 千円		3,353 千円		4,061 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.100 人	596 千円	0.200 人	1,176 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.350 人	630 千円	0.500 人	900 千円								
全体事業費(A+B)		4,281 千円		4,579 千円		6,137 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	各種団体・クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	公民館の利用者は多く、十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	公民館の維持管理に多くの費用が要りますが、節約して運営していきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	経費を削減するために冷暖房を適切に使用し、必要のない照明等を節約します。					今後も利用しやすい、環境に努めてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	24	基本事務事業名	林公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい体験事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	花作りを通して4町住民の交流づくりを図ります。											
			今年度	花作りを通して4町住民の交流づくりを図ります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 年6回開催し、季節に応じたガーデニングの基礎(土壌・肥料)を講習や実習をします。														
	② 家庭で花作りをしている中で生じた疑問を講座のときに、講師より指導が受けられます。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	ガーデニング参加人数	1回20人×6回		人	目標	120	90	120							
		実績	90		94										
		目標													
		実績													
		目標													
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	120 千円		122 千円		133 千円								
		計(A)	120 千円		122 千円		133 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.350 人	2,116 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.250 人	450 千円	0.200 人	360 千円								
全体事業費(A+B)		2,236 千円		572 千円		493 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	住民の教養を高めたり交流の場を図るために、必要性はあります	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	積極的に参加されていますので、成果の向上はあります。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	参加者の申込数は増え、参加率も良いので、十分達成できていると思います。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	受益者負担からすれば、効率性は高いと思います。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	参加者は、積極的に取り組んでいるのでこのまま続けられたいかと思ひます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	予算の減額はしないで欲しいと思ひます。					現状維持で行ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	25	基本事務事業名	林公民館企画運営事業	事務事業名	阿波女性セミナー	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市在住の女性											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	女性としての知識や教養を高め心身とともに健康的で明るい地域づくりを目的とします。										
				今年度	女性としての知識や教養を高め心身とともに健康的で明るい地域づくりを目的とします。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 年10回(5月～2月)開催														
	② 阿波市議会傍聴														
	③ 県外視察研修(防災センター)														
	④ 能楽鑑賞会														
	⑤ ブリザードフラワーづくり														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	参加人数		1回35人×10回		人	目標	350	350	350						
						実績	320	302							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	142 千円		55 千円		300 千円								
		計(A)	142 千円		55 千円		300 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,418 千円	0.050 人	298 千円	0.050 人	294 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.300 人	540 千円	0.250 人	450 千円							
	全体事業費(A+B)		2,560 千円		893 千円		1,044 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	女性が共通の目的を持って、教養を高めたり健康的で明るい地域づくりをするために必要と思います。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	セミナーの事業内容が充実しているので、参加希望者も多く、参加者自らが年間事業計画等も策定し成果をあげています。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	毎回参加率も高いので、十分達成できていると思います。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	無償で講演してくださる講師を招いて経費の削減を計り、事業運営に取り組んでいるので効率性は高いと思います。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	参加希望者は、「広報あわ」で募集をしています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	組織の役割を決めて、事業運営を推進したらよいかと思います。					現状のまま継続してください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	26	基本事務事業名	林公民館企画運営事業	事務事業名	林高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		林地区の高齢者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	高齢者の教養の向上、健康の増進、生きがいづくりを図ります。										
				今年度	高齢者の教養の向上、健康の増進、生きがいづくりを図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 年3回のお誕生会を開催し、長寿をお祝いするとともに講師を招いて健康づくり等の講義を受け実践します。														
	② 林幼稚園児と「ふれあいクリスマス会」を開催し、交流の場を提供します。														
	③ 林小学校3年生と「わら細工」「竹細工」をして、文化の伝承を行います。														
	④ 公民館施設の清掃奉仕をします。														
	⑤ 一日研修を実施し、自己の見聞を広めます。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	お誕生会	1回80人×3回	人	目標		270	240	240							
				実績		232	238								
	クリスマス会	1回80人	人	目標		90	80	80							
				実績		66	76								
	一日県外研修	1回60人	人	目標		70	70	60							
実績					49	55									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	92 千円		131 千円		104 千円								
		計(A)	92 千円		131 千円		104 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.350 人	2,116 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.250 人	450 千円	0.200 人	360 千円							
	全体事業費(A+B)		2,208 千円		581 千円		464 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	自らの教養を高めたり、交流の場を図ることにより必要性が十分あると思います。	☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	積極的に参加できているので、成果の向上はあると思います。	☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	高齢者事業は、参加率がよく目標は達成できていると思います。	☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	受益者負担の観点からどの事業ににも対し、自己負担してもらい安い経費で運営できていると思います。	☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	行事の準備・進行・後始末に至るまで自主的に運営が図られています。会計処理等ができるように指導していきたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	企画・立案をするための役員会等の運営を自主的にできるよう、改革していきたいと思います。					参加しやすい内容で、現状維持を行ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	27	基本事務事業名	林公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(6)関係団体の育成				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		林地区の高齢者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	地域における積極的な社会参加活動を支援すると共に、利用団体との連携を密にして発表の場を設けるようにします。										
				今年度	自主活動ができるように援助を行います。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 年末年始を除き、日曜日から土曜日まで24団体が定期的に利用しています。														
	② 子供会のレクリエーションやスポーツ少年団の合宿もあります。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	林長寿クラブ参加人数		総会:80人 役員会:24人 老人体育大会:30人		人	目標	144	144	134						
						実績	138	136							
	グラウンドゴルフ参加人数		月例大会:236人 其他の大会:90		人	目標	456	456	326						
						実績	432	348							
	サークル活動参加団体		24団体×12回		回	目標	288	268	280						
					実績	268	264								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,209 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	180 千円	0.150 人	270 千円							
	全体事業費(A+B)		1,209 千円		180 千円		270 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	実施主体がないので24団体全てが趣味クラブで熱心に利用・活動しています。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	自主運営で活動しているので、公民館の貸出業務は有効利用できていると思います。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	サークル活動団体が、効率よく目標を達成できていると思います。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	利用度が非常に高いので、効率性に富んでいます。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	各種団体の使用等、時間調整が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	他の公民館と連携を計りながら、充実度を高めます。					活動の支援と自主運営の指導を行ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	28	基本事務事業名	林公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成25年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚 正己	シート作成者名	長瀬 和文					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)生涯学習の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☒ 2 非該当		根拠法令等		社会教育法・阿波市公民館条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域住民のための学習の場を提供し、相互の人間関係を深めると共に心豊かな人づくりを形成します。											
			今年度	地域住民のための学習の場を提供し、相互の人間関係を深めると共に心豊かな人づくりを形成します。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 維持管理(電気、消防設備、浄化槽保守点検、清掃業務)														
	② 施設の運営(日常の公民館の貸出業務)														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	開館日数	359日	日	目標	359	359	359								
				実績	359	359									
	利用団体数	舞踊外23団体	団体	目標	24	24	24								
				実績	22	24									
				目標											
				実績											
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費
		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考							
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円		平成24年度より、嘱託職員を採用						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	7 千円		17 千円		5 千円								
		一般財源	2,859 千円		2,989 千円		3,405 千円								
		計(A)	2,866 千円		3,006 千円		3,410 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	596 千円	0.200 人	1,176 千円							
		臨時・嘱託職種			社会教育指導員		社会教育指導員								
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	180 千円	0.150 人	270 千円								
全体事業費(A+B)		3,470 千円		3,782 千円		4,856 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	各種団体・クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	公民館の利用者は多く、十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	公民館の維持管理に多くの費用が要りますが、節約して運営していきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	経費を削減するために冷暖房を適切に使用し、必要のない照明等を節約します。					利用しやすい環境に努めてください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	29	基本事務事業名	青少年ホーム企画運営事業	事務事業名	教室クラブ活動事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	大塚正己		シート作成者名	桜川治子			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 青少年の健全育成				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(4) 青少年の体験・交流活動等への参画促進				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に居住する青少年及び市内の事業に勤務する青少年											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	勤労青少年の日常に必要な援助を与え、その福祉の増進を図ります。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 各種スポーツクラブ(バレーボール・バトミントン・卓球・硬式テニス・ボウリング)														
	② 各種文化、音楽活動(生花講座・茶道講座・アコースティック同好会・パンクロック同好会)														
	③ ボランティア活動(市内カープミラー磨き・ホーム周辺除草作業・ホーム清掃)														
	④ カーニバル活動(Passion Of Youthというお祭りの企画、運営)														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	各種スポーツクラブ活動参加者数	1ヶ月180人×12カ月		人	目標		2400	2400	2400						
					実績		1729	1800							
	教室、講座。参加人数	1ヶ月30人×12カ月		人	目標		300	300	300						
					実績		176	210							
	ボランティア活動参加者数	25人×2回		人	目標		40	40	40						
		実績			20										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	労働費		項	労働諸費		目	勤労青少年ホーム管理費		
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	558 千円		593 千円		595 千円								
		計(A)	558 千円		593 千円		595 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,231 千円		0.050 人	298 千円		0.050 人	294 千円					
		臨時・嘱託職種	勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.700 人	1,260 千円		0.700 人	1,260 千円		0.700 人	1,260 千円					
	全体事業費(A+B)		6,049 千円		2,151 千円		2,149 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	施設は、市内には1箇所しかなく、地域に根ざした若者の育成の場としてのニーズは高いといえます。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	勤労青少年の学習の場、情報提供に努めています。また少子化・晩婚化に歯止めをかけるべく若者が集う場としての役割を担っており有効性は高いといえます。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	参加者には好評を得ています。若者同士の口こみで利用者も増加傾向にあり、目標に対して概ね達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている	☐ 目標に比べて劣っている ☐ あまり上がっていない ☐ 概ね達成している ☒ 十分達成している		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	働く青少年のための余暇活動のみならずニート対策等若者を取り巻く問題に対応できます。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	経費削減の状況下ではありますが、ホームの利用者は増加しており必要性は高く、勤労青少年の福祉増進に関する施設として1つしかなく、現状の人員、予算等で実施していくべきと考えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	現状の活動内容、事業活動に加え、近年問題化しているニート対策など勤労青少年を取り巻く問題にも取り組む必要があります。					現状予算内で参加に人員増を図ってください。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	40	—	30	基本事務事業名	青少年ホーム施設管理事業	事務事業名	施設管理事業	公的関与	8	シート作成日	平成25年6月24日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	大塚正己	シート作成者名	桜川治子					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 青少年の健全育成				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(4) 青少年の体験・交流活動等への参画促進				☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に居住する青少年及び市内に事業所に勤務する青少年											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るため、一般教養講習会、グループ活動等効率的に行くえる維持管理を図ります。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 施設運営(ホームの貸出業務)夜間の利用も含む														
	② 維持管理業務(防火設備・電気の保安・浄化槽設備点検・清掃業務)														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	最終目標					
	施設の維持管理 開館日数		年間241日		日	目標	241	241	250						
						実績	241	241							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	2	青少年ホーム管理費	
			平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	1,460 千円		1,329 千円		1,288 千円								
		計(A)	1,460 千円		1,329 千円		1,288 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,813 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	588 千円							
		臨時・嘱託職種	勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.700 人	1,260 千円	0.300 人	540 千円	0.300 人	540 千円							
	全体事業費(A+B)		4,533 千円		2,465 千円		2,416 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				☐ 少ない	☒ 大きい	利用者も増加傾向にります。ニーズも高く必要性も高いです。活動施設としては、唯一のものであります。勤労青少年の日常生活に必要な援助を行う施設として重要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				☐ いえない	☒ いえる	各教室、クラブ、同好会、講座、ボランティア活動、各種研修会等が有効に利用しています。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				☐ 目標に比べて劣っている	一般教養としての教室、グループ活動、クラブ等の事業が計画どおり実施され、参加者においても目標を達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				☐ 高い	☒ 適当	経済的には年々減少しています。利用団体も多く効率性が高いです。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				☐ ある	☒ ない	☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	施設の設備等老朽化しています。利用を促進するため、時代のニーズにあった施設改善をする必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	施設の修繕等を計画的に行う必要があります。					多くの人が利用しやすい環境に努めてください。					
委員会指摘事項											